

**IBM SPSS Amos
許可ユーザー・ライセンス
管理者ガイド**

IBM

目次

管理者ガイド	1	Windows コンピューターへのインストールのプッ	
開始する前に	1	シユ	2
ゴースト化	1	licenseactivator の使用	5
Citrix およびターミナル・サービス	1	ライセンス・ファイル	6
ローカル・デスクトップ・コンピューターでの製品の		サービスとサポート	6
インストール	1		

管理者ガイド

以下の説明は、IBM® SPSS® Amos 24 に認証されたユーザー・ライセンスのライセンス・タイプを使用しているサイトの管理者向けです。このライセンスでは、IBM SPSS Amos を複数のコンピューターにインストールできます。その数は購入したライセンス数に制限されます。

開始する前に

認証コードが必要です。認証コードにより、管理者とエンド・ユーザーは、IBM SPSS Amos のライセンスを取得できるようになります。

認証コードを取得するための個別の手順については、既に受け取っているはずですが、認証コードが見つからない場合は、<http://www.ibm.com/software/analytics/spss/support/clientcare.html> にアクセスしてカスタマー・サービスに連絡してください。

ゴースト化

ソフトウェアのゴースト化を行う場合は、ライセンスへの準拠を容易にするために次の方法をお勧めします。

- コンカレント・ライセンスに移行する。
 - または -
- 認証済みユーザー・ライセンスを使用するが、ゴースト化イメージのソフトウェアにはライセンスを許可しない。各エンド・ユーザー・マシン上のソフトウェアにライセンスを許可します。

ソフトウェアのゴースト化を選択した場合、上記 2 つの推奨方法のいずれかを使用しないときは、ライセンスへの準拠を維持していくことが非常に難しくなります。ライセンスへの準拠の維持についてのご質問は、IBM Corp. にお問い合わせください。

Citrix およびターミナル・サービス

Citrix およびターミナル・サービスで IBM SPSS Amos を使用するには、コンカレント・ライセンスが必要です。ライセンスの移行については IBM Corp. にお問い合わせください。

ローカル・デスクトップ・コンピューターでの製品のインストール

エンド・ユーザーのコンピューターにローカルで製品のフルインストールを行うには、2 つの方法があります。各コンピューターに手動でインストールするか、Systems Management Server (SMS) のようなアプリケーションを使用して Windows が稼働しているコンピューターにインストールをプッシュできます。

ローカル・デスクトップでの手動インストール

1. インストール・メディアを用意します。製品の eImage をダウンロードし、共有ネットワーク・ドライブにファイルを解凍します。物理インストール・メディアがある場合、DVD/CD のコピーを必要な数だけ作成するか、メディアを共有ネットワーク・ドライブに置きます。
2. インストール手順書をコピーし、ライセンスに関する情報を準備します。製品のインストール手順書のコピーを必要な数だけ作成します。インストール手順書はダウンロード・サイトから入手できます。または、物理インストール・メディアを受け取っている場合は、DVD/CD の ディレクトリーにありま

す。ご使用のライセンス・タイプに対応する指示書を探します。インストール後に、エンド・ユーザーは、サイトの認証コードを入力する必要があります。手順書をコピーする前に、手順書の冒頭に用意されているスペースにこの情報を入力します。

注: プロキシ・サーバーによって認証が妨げられる場合は、*licenseactivator* の使用を検討してください。これによって、プロキシ ID とパスワードを入力できます。詳しくは、5 ページの『*licenseactivator* の使用』のトピックを参照してください。

3. インストールに必要なものをエンド・ユーザーに配布します。ダウンロード済みファイル (またはネットワーク上の場所、またはインストール DVD/CD)、インストール手順書、およびライセンス情報を、各コンピューターに手動でインストールできるエンド・ユーザーに必要なに応じて配布します。

Windows が稼働しているローカル・デスクトップへのプッシュ

IBM SPSS Amos のインストールは Microsoft Windows インストーラー (MSI) との互換性があるため、エンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターにインストールをプッシュできます。

Windows コンピューターへのインストールのプッシュ

インストールのプッシュとは、ソフトウェアを任意の人数のエンド・ユーザーに、ユーザーの介入なしにリモートで配布する手法です。IBM SPSS Amos のフルインストールを、Windows が稼働しているエンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターにプッシュできます。インストールのプッシュに使用するテクノロジーでは、MSI エンジン 3.0 以上がサポートされている必要があります。

以前のバージョンのアンインストール

以前のバージョンの IBM SPSS Amos がインストールされているディレクトリーにプッシュする場合は、その古いバージョンをアンインストールする必要があります。インストールのプッシュと同様に、アンインストールをプッシュすることができます。詳しくは、5 ページの『アンインストールのプッシュ』のトピックを参照してください。

プッシュ・インストールのプロパティー

プッシュ・インストールで使用できるプロパティーを以下に示します。すべてのプロパティーで大文字と小文字が区別されます。値に空白文字が含まれている場合は、その値を引用符で囲む必要があります。

表 1. プッシュ・インストールのプロパティー:

プロパティー	説明	有効値	デフォルト (該当する場合)
INSTALLDIR	IBM SPSS Amos のインストール先となる、エンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューター上のディレクトリー。このプロパティーはオプションです。このプロパティーを指定しなかった場合のデフォルトは <i>C:¥Program Files¥IBM¥SPSS¥AMOS¥24</i> です。	C:¥Amos などの有効なパス。	C:¥Program Files¥IBM¥SPSS¥AMOS¥24

表1. プッシュ・インストールのプロパティ (続き):

プロパティ	説明	有効値	デフォルト (該当する場合)
AUTHCODE	認証コード。このプロパティを指定した場合、認証コードを使用して製品が自動的に認証されます。このプロパティを指定しなかった場合、各エンド・ユーザーがライセンス認証ウィザードを実行して、手動で認証を行う必要があります。	1 つ以上の有効な認証コード。複数の認証コードを指定する場合は、コロンで区切ります (例: <i>authcode1:authcode2</i>)。	
PROXY_USERID	プロキシのユーザー ID。AUTHCODE パラメーターを指定し、インターネットへの接続でユーザー ID とパスワードが必要なプロキシを現在のサイトで使用している場合は、このパラメーターを指定する必要があります。コントロール・パネルの「インターネットオプション」の「ローカルエリア ネットワーク (LAN) の設定」で、特定のプロキシ・サーバーのアドレスとポートが指定されている場合のみ、このパラメーターが機能します。	有効なプロキシ・ユーザー ID。	
PROXY_PASSWORD	プロキシ・ユーザーのパスワード。詳細については、PROXY_USERID の説明を参照してください。	プロキシ・ユーザー ID に関連付けられたパスワード。	
COMPANYNAME	自分の会社名。	任意の文字列。	

MSI ファイル

IBM SPSS Amos 24.msi ファイルは、DVD/CD の *Windows\Amos* ディレクトリーに格納されています。ソフトウェアをダウンロードした場合、eImage の内容を抽出して MSI ファイルにアクセスする必要があります。

コマンド・ラインの例

製品のインストールのプッシュに使用できるコマンド・ラインの例を以下に示します。すべてのテキストを 1 行で入力してください。

```
MsiExec.exe /i "IBM SPSS Amos 24.msi" /qn /L*v logfile.txt
INSTALLDIR="C:\Amos" AUTHCODE="3241a2314b23c4d5f6ea"
```

SMS を使用したインストールのプッシュ

Systems Management Servers (SMS) を使用して IBM SPSS Amos をプッシュする際の基本的な手順を以下に示します。

1. DVD/CD に収録されている *Windows¥Amos* ディレクトリー配下の適切なサブディレクトリーを、ネットワーク・コンピューター上のディレクトリーにコピーします。ソフトウェアをダウンロードした場合は、最初に eImage の内容を抽出する必要があります。
2. コピーしたディレクトリー内の *IBM SPSS Amos 24.sms* ファイルを編集します。テキスト・エディターを使用して適切なプロパティーを追加することにより、CommandLine の値を変更してください。使用可能なプロパティーのリストについては、2 ページの『プッシュ・インストールのプロパティー』を参照してください。コマンド・ラインで適切な MSI ファイルを指定してください。
3. *IBM SPSS Amos 24.sms* ファイルからパッケージを作成し、そのパッケージをエンド・ユーザーのデスクトップ・マシンに配布します。

グループ・ポリシーまたは関連技術を使用したインストールのプッシュ

1. DVD/CD に収録されている *Windows¥Amos* ディレクトリー配下の適切なサブディレクトリーを、ネットワーク・コンピューター上のディレクトリーにコピーします。ソフトウェアをダウンロードした場合は、最初に eImage の内容を抽出する必要があります。
2. ORCA などのアプリケーションを使用して、コピーしたフォルダー配下の適切な *IBM SPSS Amos 24.msi* ファイルでプロパティー・テーブルを編集します。ORCA は、Windows 2003 Server SDK に付属しています。<http://www.microsoft.com/downloads> にアクセスして、「SDK」で検索してください。プロパティー・テーブルに追加できるプロパティーのリストについては、2 ページの『プッシュ・インストールのプロパティー』を参照してください。必ず、正しい MSI ファイルを使用してください。
3. 編集済みの *IBM SPSS Amos 24.msi* ファイルを使用してパッケージを作成し、このパッケージをエンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターに配布します。

英語以外のシステムにインストールをプッシュする

追加の指定をすることなく、英語以外のシステムにインストールをプッシュすることができます。ただし、インストーラーの言語 (対話インストールをプッシュする場合)、ユーザー・インターフェース、ヘルプはすべて英語で表示されます。ユーザーは、インストール後にユーザー・インターフェースの言語を変更できますが、ローカライズされたヘルプは使用できません。

TRANSFORMS プロパティーを使用して、DVD/CD またはダウンロードした eImage に含まれているいずれかの MST ファイルを指定することができます。MST ファイルを使用すると、インストーラー、ユーザー・インターフェース、ヘルプを、指定の言語で表示することができます。IBM SPSS Amos をダウンロードした場合、MST ファイルは使用できません。その場合ユーザーは、ローカライズされたヘルプの言語パックを手動でインストールし、製品のユーザー・インターフェース言語を手動で変更する必要があります。

TRANSFORMS プロパティーは、*MsiExec.exe* のパラメーターです。以下の例では、TRANSFORMS プロパティーを使用して、フランス語のインストールをプッシュしています。この場合、インストーラーとユーザー・インターフェースがフランス語で表示され、フランス語のヘルプがインストールされます (ヘルプの言語を HELPCHOICE プロパティーでオーバーライドすることもできます。詳しくは、2 ページの『プッシュ・インストールのプロパティー』のトピックを参照してください。) すべてのテキストを 1 行で入力してください。

```
MsiExec.exe /i "IBM SPSS Amos 24.msi" /qn /L*v logfile.txt  
INSTALLDIR="C:¥Amos" LICENSETYPE="Network" LSHOST="mylicserver" TRANSFORMS=1036.mst
```


以下に示す言語用 MST ファイルは、DVD/CD の *Windows¥Amos* ディレクトリーに格納されています。
eImage をダウンロードした場合、これらのファイルは抽出された eImage ファイルのルート・ディレクトリーに格納されています。

表 2. 言語用 MST ファイル:

言語	MST ファイル
英語	1033.mst
日本語	1041.mst

アンインストールのプッシュ

注: アンインストール・コマンドをプッシュすると、エンド・ユーザーによるカスタマイズが失われます。特定のユーザーについてカスタマイズが必要な場合は、それらのユーザーを配布対象から除外して、製品を手動でインストールするように依頼してください。

新しいバージョンの IBM SPSS Amos のインストールをプッシュする場合、最初にアンインストールを行うことをお勧めします。このアンインストールは、以下のコマンドをプッシュすることにより、サイレントに実行することができます。すべてのテキストを 1 行で入力してください。

```
MsiExec.exe /X{A24026D3-0E0B-49F1-8FC8-65E254EB421F} /qn /L*v logfile.txt  
ALLUSERS=1 REMOVE="ALL"
```

このコマンドにより、IBM SPSS Amos 24 がアンインストールされます。以下の表に、このリリースと以前のリリースのアンインストール ID を示します。

表 3. IBM SPSS Amos のアンインストール ID:

バージョン	アンインストール ID
24.*	{A24026D3-0E0B-49F1-8FC8-65E254EB421F}
23.*	{2B603859-DCA2-45DD-92DF-98542E78BAA8}
22.*	{DEB57287-C937-4DE9-939A-5ED3AB8F052D}
21.*	{304B71E3-1017-4717-86BC-F1D18519FEF2}
20.*	{58C50F5A-B7E2-4149-8911-B14CEC825F57}
19.*	{B132EFD2-BF03-48AA-8EC8-404E4C5199C5}
18.*	{65D9DA69-4C22-46CA-B762-A338CAC94599}
17.*	{9DB2E18E-2A1F-4D65-A258-9CB446903C3E}
16.*	{4DA782CB-C9A0-462F-9D18-17D301BC507C}

licenseactivator の使用

licenseactivator を使用すると、ライセンス認証ウィザードを使用しなくても、エンド・ユーザーのコンピューターを認証することができます。このコマンド・ライン・ツールは、IBM SPSS Amos をインストールしたディレクトリーにあります。

licenseactivator を使用すると、製品のライセンスが交付され、*licenseactivator* のディレクトリーにログ・ファイルが書き込まれます。このログ・ファイルの名前は *licenseactivator_<month>_<day>_<year>.log* になります。エラーが発生した場合は、このログ・ファイルを参照して詳細な情報を調べることができます。IBM Corp. にサポートを依頼する場合にも、この情報が役に立ちます。

認証コードでの `licenseactivator` の使用

`licenseactivator` は、通常、製品の購入時に受け取った 1 つ以上の認証コードとともに使用します。すべてのテキストを 1 行で入力してください。

```
licenseactivator authcode1[:authcode2:...:authcodeN] [PROXYHOST=proxy-hostname] [PROXYPORT=proxy-port-number]
[PROXYUSER=proxy-userid] [PROXYPASS=proxy-password]
```

- 複数の認証コードを指定する場合は、コロン (:) で区切ります。
- プロキシ設定は任意ですが、プロキシ経由でコンピューターを使用している場合は、プロキシ設定が必要になることがあります。必要なプロキシ設定は、固有のプロキシ構成によって異なります。すべてのプロキシ設定が必要になることがあります。

PROXYHOST

プロキシ・ホストのサーバー名または IP アドレス

PROXYPORT

プロキシ経由でインターネットに接続するためのポート番号

PROXYUSER

プロキシのユーザー ID (必要な場合)

PROXYPASS

ユーザー ID に関連付けられたパスワード (必要な場合)

ライセンス・コードでの `licenseactivator` の使用

あまり多くはありませんが、IBM Corp. からライセンス が送付されることがあります。

```
licenseactivator licensecode[:licensecode2:...:licensecodeN]
```

- 複数のライセンス・コードを指定する場合は、コロン (:) で区切ります。
- ライセンス・コードを使用する場合、`licenseactivator` はインターネットには接続しないため、プロキシ情報を指定する必要はありません。

ライセンス・ファイル

製品にライセンスを許可すると、製品のインストール・ディレクトリーに `lserverc` という名前のファイルが作成されます。このファイルのコピーをエンド・ユーザーの各コンピューターに対して保持しておくことができます。ライセンス・ファイルは、それが作成されたコンピューターでのみ機能しますが、そのコピーがあると、製品のアンインストールや再インストールが必要になったときに役立ちます。再インストール後に、`lserverc` ファイルを製品のインストール・ディレクトリーにコピーし直すことができます。これにより、製品のライセンスをあらためて取得する作業が省けます。

サービスとサポート

Micro Software のライセンス契約書に記載されているように、サイトでライセンス交付を受けた製品バージョンごとに、窓口となる技術担当者が、お客様のサイトで 1 人指定されます。この担当者が、お客様の組織内のユーザーに対して、製品に関する支援とオプションを提供することになります。IBM Corp. は、窓口となる技術担当者の名前を記録し、IBM Corp. 技術サポートを通じて技術的な支援を提供します。ソフトウェアに関する質問は指定された技術担当者に問い合わせるよう、エンド・ユーザーに通知してください。

IBM Corp. 技術サポートに連絡するには、<http://www.ibm.com/support> にアクセスして事象を送信してください。IBM Corp. 技術サポートに登録していない場合は、登録する必要があります。

IBM Corp. は、IBM Corp. 製品の公開トレーニング・セミナーを定期的を開催しています。オンサイトでトレーニングを受講することもできます。トレーニング・セミナーの詳細については、<http://www.ibm.com/training/spss> にアクセスしてください。



Printed in Japan